

「県北地域感染症情報レター」に関する御意見、御質問等につきましてメールにて返信くださるようお願いいたします。  
県北保健福祉事務所生活衛生部医療課 メールアドレス hofukunet\_kenpoku@pref.fukushima.lg.jp

## ★福島県感染症動向調査 週報★

(県内の情報及び週報は、「福島県感染症情報」を検索してください。)

！ 県北地域情報 ！ (6月15日発表)

- ・咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎の小流行が見られます。
- ・インフルエンザは、福島県は非流行期となりました。手洗い・うがい等の予防習慣は継続することをお勧めします。

## 蚊媒介感染症に注意しましょう！

蚊を介して感染する感染症にはいくつか種類があり、デング熱、ジカウイルス感染症(ジカ熱)、チクングニア熱等があります。暑い季節になると蚊の発生が増えますので、これからの季節は注意が必要です！

### デング熱について

- 原因ウイルス:デングウイルス
- 感染してから症状出現まで:2~14日(多くは3~7日)
- 主な症状:急な発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹等

### ジカウイルス感染症(ジカ熱)について

- 原因ウイルス:ジカウイルス
- 感染してから症状出現まで:2~12日(多くは2~7日)
- 主な症状:軽度の発熱、発疹、結膜炎、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹等。比較的症状は軽い。気づかない場合もある。

**治療薬や予防接種について:** 特有の治療薬はありませんので、対症療法となります。有効なワクチンもありません。

### 日本国内発生状況:

デング熱は2013年、2014年に日本で感染した患者の報告がありました。

ジカ熱では、日本国内で感染した症例はありません。海外で感染し日本で発症した症例はあります。

**流行地:** 熱帯や亜熱帯地域で流行しており、アフリカ、中南米、アジア太平洋地域で発生があります。(海外旅行等で渡航し帰国した際、心配な症状がある場合は、検疫所に相談して下さい。)

### 感染経路について:

ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖します。その蚊が他者を吸血することでウイルスが感染します(蚊媒介性)。ヒトスジシマカやネッタイシマカの一部が媒介蚊となって感染します。ヒトからヒトへ直接感染するような病気ではありませんが、特にジカ熱については性行為によって感染する場合があります。また、ジカ熱では母体から胎児へ感染することがあり(先天性ジカウイルス感染症)小頭症の原因となると考えられています。

**すべての蚊がデングウイルスやジカウイルスを保有しているわけではありません。蚊に刺されたことだけで過度に心配することはありません。**

### 予防方法:

- ！ やぶなど蚊のいそうな場所に行く時、流行地域へ渡航する際には、長袖・長ズボンの着用等で肌を露出せず、虫よけスプレーをこまめに使用し、蚊に刺されないようにする。
- ！ 植木鉢の皿、空き缶、雨水ます、古タイヤなど住まいの周囲の水たまりを無くし、蚊の発生を減らす。
- ！ 性行為について、流行地域滞在中および帰国後最低4週間は性行為を控えるか、コンドームを正しく利用する。妊婦および妊娠の可能性のある女性は渡航を控えた方が良い。



(参考) ※厚生労働省 デング熱に関するQ&A

→ [http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue\\_fever\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever_qa.html)

※厚生労働省 ジカ熱に関するQ&A、流行地、リーフレット

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109899.html>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

